

文化・芸術

「無言館外観」

戦没画学生慰霊美術館「無言館」

大川美術館では、「野見山曉治展」の同時開催として、特別展示「無言館の作品」を開催しています。群馬県内では初の「無言館」の展示となります。

戦没画学生慰霊美術館「無言館」は、長野県上田市にあります。1997年5月、野見山曉治の戦中期の拭い難い体験を背景に、現在の館主である窪島誠一郎と共に開館されました。野見山と同時代の戦没画学生たちの遺族を訪ね、託された作品や遺品、そこに込められた思いを展示する美術館です。

本展では、その中から33点を紹介します。野見山と同じ世代の東京美術学校（現東京芸術大学）出身の画学生たちは、いずれも戦地から帰ることはありませんでした。各作品のそばには、野見山が初めて遺族を訪ねた折の紀行文の一節を添えています。

（小此木）

特別展示 戦没画学生慰霊美術館
「無言館」の作品から

《名画の扉》

